

## 令和7年度 地域連携推進会議議事録

1. 事業所名 共同生活援助事業所「九千部寮」
2. 日時 令和8年3月4日(水) 9時50分～11時30分
3. 場所 第1九千部寮 食堂
4. 出欠

地域の関係者	4名
利用者	1名
利用者家族	1名
事業所職員	2名(管理者・サービス管理責任者)
その他法人職員	2名
・出席者	合計10名
・欠席者	合計1名(事業所職員)
5. 議題

第1号	地域連携推進会議の概要について
第2号	社会福祉法人たちばな会及び九千部寮の概要について
第3号	意見交換

定刻前であったが、事前に欠席を申し出た職員を除き出席予定者全員が揃ったため事務局が開会を宣し、次第に沿って進行に入った。

理事長(事業所管理者兼務)の挨拶の後、事務局から出席者の紹介と各自より自己紹介があった。

事務局進行により議題に入った。

### 第1号 地域連携推進会議の概要について

事務局から資料に口頭で内容を付け加えながら今回の地域連携推進会議の目的や内容について説明があった。日本各地で福祉施設の不祥事があることも加えて報告され、地域の方や家族など第三者の目を入れることで透明性を確保し不正防止につなげたい旨を場に伝えた。

特に質問等はなく、議題第1号を終えた。

### 第2号 社会福祉法人たちばな会及び九千部寮の概要について

事務局から資料を基に説明が行われた。

特に質問等はなく、議題第2号を終えた。

### 第3号 意見交換

- 地域の関係者 以前から九千部学園の関係から存在自体は知っていたが、このような福祉施設とは知らなかった。このような機会があってよかった。
- 事業所 平成21年に佐賀県より経営移管を受けた際は通勤寮であった。制度上通勤寮が消滅したため、現在はグループホームとして運営している。当時と比べて施設収入や利用者の負担額が大きく変わった。  
生活面での時間スケジュール等の説明があった。  
一般就労者や施設通所者で生活スタイルが様々なので、食事や入浴、起床、就寝の時間は個々にあわせて支援している。  
あわせて、夜間を含めた職員体制について説明した。
- 地域の関係者 日頃から近辺でここの利用者じゃないかとよく見かける。何かあった時の声掛けはどうしたらよいか。
- 事業所 背後からの突然の声掛けは避けてください。個人の特性により正解はありません。気にかけてくださることはとてもありがたいです。対象者の視界に入り目を合わせてからゆっくり声をかけてください。  
利用者の周辺での活動について説明があった。  
主に自転車を使われる方が多いです。買い物が主ですが、電車やバスを使って祭りや映画鑑賞に行かれることもあります。
- 地域の関係者 隣の学校が建設中ですが、4月からは開校するので交通量も多くなって不安。地域として右折レーンの設置を申し入れたが、叶わなかった。よって、学校への進入は左折のみにしてもらおうよう注文している。このあたりはサガハイマットや新鳥栖駅などができて、住民や交通量がかなり増えてきている。
- 事業所 4月からは自転車を取り巻く法律が改正されます。事業所としても交通ルールを学ぶ機会を設けて交通安全に努めていきたい。
- 地域の関係者 ここの食事はどうなっているのか。3食あるのか。
- 事業所 3食提供している。昼食の確保ができない方には弁当を作っている。  
この辺は九千部学園があったこともあり、地域の理解が昔からある。とても心強い。
- 利用者 昼は作業をしています。
- 保護者 いつまで利用できるのか。
- 事業所 特に医療的支援が主になったり、身体的に介護が主になったりしない限りは年齢による制限はありません。現在、ここのホームは生活面で自立されている方が多いが、将来的には介護を中心とした施設作りにシフトしていく可能性もある。本人にあった場所で生活していただくよう相談員との連携もしている。また、個別支援計画によりそれぞれにあわせた支援をしている。

その他、意見を募ったが特になく、議題第3号を終えた。

この後、施設見学を行うことを伝え、一旦の会議の終了を宣した。

一同、第1九千部寮を見学する。その後、平田町の第2九千部寮に移動し、見学を実施。  
11時30分、次第の全てを終えその場で散会した。